

2025年3月期 第1四半期 Web 決算説明会 主な質疑応答記録

日時：2024年7月26日(金) 12:00 ~ 12:45

出席者：取締役 常務執行役員 経営企画本部長 井上 智弘

<電子先端材料／ポリシリコンについて>

- Q: 電子先端材料のポリシリコンにつき、製品ミックスの改善と棚卸資産評価損の戻入が発生したということだが、計画に対しての進捗も含め解説いただきたい。棚卸資産評価損については、前期の評価損計上額と今回の戻入額につき、具体的な数字をいただきたい。
- A: まず製品ミックスの改善とは、1Q については想定よりハイエンド品が出たということである。通年でならずと通期計画に沿った形であり、通期の電子先端材料セグメントの利益が1Qの19億円×4=76億円に仕上がる想定ではない。
棚卸資産評価損については、前期に10数億円の評価損を計上し、今回の1Qで1桁億円後半の戻入を計上した。

<ライフサイエンスについて>

- Q: ライフサイエンス全体では減益だが、歯科器材の営業利益への寄与はどのくらいだったか。
- A: 営業利益ベースだと大部分を歯科器材が占めている形で、前年同期並みを維持できているのは歯科器材の寄与が大きい。

<セメント値上げについて>

- Q: セメントの値上げについては、2025年度出荷分から2,100円/トンの値上げ適用ということだが、2024年度のコスト上昇分を1年遅れて転嫁するということなのか、それとも2025年度のコスト上昇も含めて転嫁するということなのか。
- A: 足元の物流費・労務費は上昇しており、一方、維持更新投資は大型の投資を2025年度以降予定している。足元の物流費・労務費上昇分については、2025年度にご負担いただくという思想で打ち出している。

以上